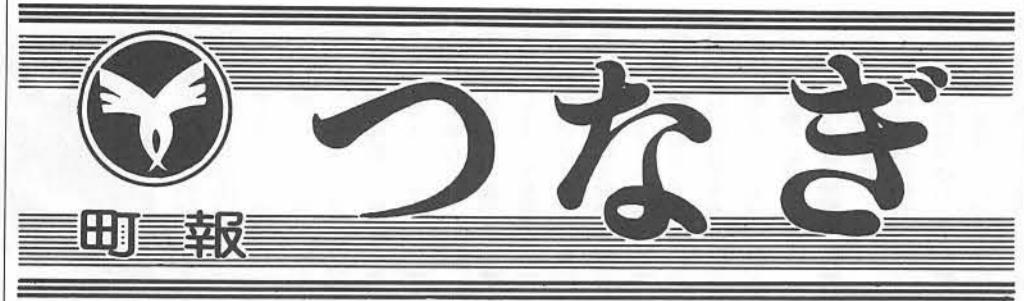


昭和59年  
4月1日  
第219号  
発行  
編集  
印



人口と世帯  
(3月1日現在)  
人口 6,246 (-6)  
男 2,984 (+1)  
女 3,262 (-7)  
世帯 1,715 (-1)  
( ) 内は前月との比較

## 昭和59年度の主な事業計画

事業名	事業費(千円)	備考
過疎代行町道社線	県営 " 12,000	川内 負担金 内野
芦北水俣広域農道	"	
県道岩城湯浦線兵バイパス事業	10,000	
県道局部改良工事	10,000	
国道三号線登坂車線工事	12,000	
新川・中尾線改良工事	10,000	
津奈木太郎線舗装工事	10,000	
平国・八迫線改良工事	12,000	
古川線改良工事	10,000	
塙迫線改良工事	24,000	
柳迫線改良工事	10,000	
赤崎線改良工事	24,000	
合申漁港海岸保全事業	県営 消波工	
福浦漁港海岸保全事業	消波工	
福浜漁港海岸保全事業	消波工	
急傾斜地崩壊対策事業	新川	
古川海岸堤防工事	川内 堤防整備 新立橋 交換	
小津奈木川堤防工事	65,000	
農村地域定住促進対策事業	30,000	
農村基盤整備事業	10,000	
船泊地区団体官営農道事業	23,000	
林業構造改善事業	20,000	
民林林地開設事業	30,000	
森林総合整備事業	12,050	
福浦漁港局部改良	20,000	
合申漁港修築事業	染竹地区	
津奈木簡易水道拡張工事	負担金	
平国小学校屋体新築	染竹地区	

# 十六億一千六百八十万円

施政方針(要旨)一新しい町づくり元年、衆知を集め一町長 六車孝吉

本町予算規模の四十五%を占める地方交付税は三・五%の減額、その他町財源の大部を構成する地方譲付税、地方債も、それを減額といふ超縮型の地方財政計画が発表される厳しい財源の重き的効率的な配分を行ない、住民福祉の向上に努めなければならぬ。

又、本年度は町制施行二十年にあたり、新町会で事務執

行あるたる點ですが、明治八年、現在地役場が置かれてから二〇八年この中心となる役場が千拓

地に移転するという事は、本町歴史に一矢を書くもので、誠に感概無量のものがあります。

又、本年度は町制施行二十年に

あればならない。

このためには、衆知を集めて町の記式を開催したい。その様な事で、新年度は「新しい町づくり元年」として、二十世紀に向って躍進する礎と致す所存です。

県南地域の開発は、城北に比べ大きさ格差があるといわれる。

そのためには、衆知を集めて町の記式を開催したい。その様な事で、新年度は「新しい町

づくり元年」として、二十世紀に

向って躍進する礎と致す所存です。

このためには、衆知を集めて町の記式を開催したい。その様な事で、新年度は「新しい町

づくり元年」として、二十世紀に

向って躍進する礎と致す所存です。